

<p>第2回 (2008.04.18)</p>	<p>学問・研究・文献・情報 「よろん」と「せろん」——戦後「世論」の成立—— 佐藤卓己准教授(教育学研究科)</p>
<p>講義スタイル：パワーポイントによる講義 参加者数：114名 配布資料：A4 プリント2枚：『人類愛善新聞』、2007年度立教大学入試問題（『メディア社会』佐藤卓己著 引用部） B4 プリント2枚：『日本世論調査協会報』2008年3月号 p 34-37 表 3-1～3：宮武実知子「世論概念の生成」（津金澤聡廣, 佐藤卓己責任編集『広報・広告・プロパガンダ』ミネルヴァ書房 2003）より</p> <p>■前年度までの講義の紹介 『言論統制：情報官・鈴木庫三と教育の国防国家』2006年度 『八月十五日の神話：終戦記念日のメディア学』2007年度 歴史研究…後世付け加えられたものをはぎとって、なるべくオリジナルに近い情報までさかのぼる。 そこから何が見えるのかが重要。（情報探索の重要性）</p> <p>■『輿論』と『世論』について ○なぜ“世論研究”か 佐藤先生の研究史：博士論文『大衆宣伝の神話』ドイツのプロパガンダ研究が出发点 大衆宣伝＝世論をいかに獲得するか⇒世論の概念はいかにたちあられてきたか ○「世論」＝「よろん」と読む？「せろん」と読む？ 1989年の調査 よろん 63% せろん 34% ※現在ではどちらでも正解とされる。学校教育→「よろん」派の増加 もともと2つは別の言葉 輿論（よろん）…[ex.]輿論に基づく民主政治 理性的、よきもの、尊重されるべきもの（＝Public opinion） 世論（せろん・せいろん）…[ex.]不惑世論 感情的、暴走を阻止すべき私情（＝Public sentiments） ：五箇条の御誓文、軍人勅諭、芥川の用例（『猿蟹合戦』、『侏儒の言葉』） …現行の「よろん＝せろん」では意味が理解できない。 ○なぜ混用されるようになったか 1946年 当用漢字表で「輿」の使用が制限される 内閣参事官 吉原一眞：輿の字がなくなると、よろんという言葉は後世に残らなくなる ⇒よろんに「世論」の字を当てることを新聞社に提案。毎日新聞社、朝日新聞社が実行。 ○戦前から「輿論」と「世論」の区分はあいまいになっていた。 ・1925年 普通選挙法の成立 政治の大衆化⇒「輿論の世論化」 ・ラジオ放送開始…Opinion が空気をつたって流れ込んでくる。気分親和的。 （輿論—活字メディア 世論—電子メディア） ・第一次世界大戦以降の総力戦 理性的「輿論」が感情的「世論」にのみこまれる。</p>	

大衆が自らの参加感覚と共感によって世論を生み出す社会関係が生まれてきた。

19C ブルジョワ的公共性から 20C ファシスト的公共性へ

○戦前の輿論研究

小山栄三・米山桂三…両者ともに戦前日本の宣伝研究の第一人者。戦後、GHQ 占領下で日本の世論調査の基礎をつくった。

- ・両者の研究に戦中と戦後で断絶や矛盾はない。
- ・1940 年の世論調査 ドイツ新聞学に基づき戦時体制下で行われていた。
- ・マス・コミュニケーション…元来第二次大戦時プロパガンダの代用として使われた言葉。客観的でも中立的でもなく、説得することを目的とする。

⇒戦時プロパガンダの科学と戦後における世論研究がつながっていることの証明。

GHQ の指導による戦後民主化の中でもたらされたものではない。

○「情報」という言葉

もともとは軍事用語。「敵情についての報告」 (=intelligence) (≠information)

戦争の記憶が薄れた 1960 年代に、「情報産業」など中立的な言葉として用いられるようになった。

■まとめ

- ・世論が責任ある公論の形成に役立つかは、私たちが世間の雰囲気流されず、自らの責任において意見を荷う自覚を持つかどうかにかかっている。

(「世論」が「よろん」でも「せろん」でも正解なら、言論(輿論)は空気(世論)を批判することができるだろうか? →二語を意識的に峻別する必要あり。)

「輿論の世論化」に対して、「世論の輿論化」=輿論の復権を訴えていかねばならない。

■情報探索に関して…

※先生の従来の疑問：なぜ「よろん」と「せろん」二通りの読みがあるのか?

→文献を調べる ちがう言葉だったのではないか? 用例を検索

(新聞 DB:「輿論」「世論」同じコードなので検索困難。青空文庫:著作権の切れた作品をデジタル化、全文検索可能。)

※宮武論文の被引用率の高さ

(表 3-1~3: 明治期の新聞・辞書における「輿論」「世論」用例、「世論」を扱う学術論文不在という調査結果) →情報整理、流れ・展開を示すことの大切さ。その後の研究発展のための土台になる。

◎研究のプロセスはつきつめれば 3 段階に分けられる。

- 1、情報を集める
- 2、情報を並べる
- 3、階層化する

図書館の参考資料室を使いこなすことが重要!